



第36期
年次報告書

平成25年4月1日～平成26年3月31日



ごあいさつ

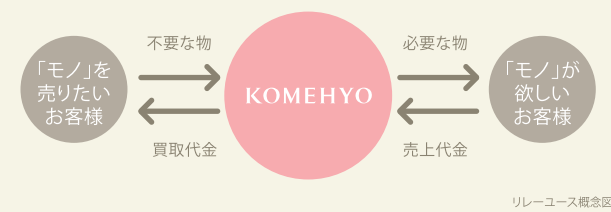


代表取締役社長
石原 卓児

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。ここに、当社第36期(平成25年4月1日～平成26年3月31日)の業績概況についてご報告いたします。

私たちは、
“リレーユース”を核として、
お客様に満足と
感動を提供いたします。

リレーユースとは、「モノは人から人へと伝承(リレー)され、有効に活用(ユース)されてこそ、その使命を全うする」というコメ兵独自の考え方です。



リレーユース概念図

業績概況・見通し

第36期の業績概況

当期におけるわが国経済は、国内需要を中心に順調な回復基調を続けております。また、個人消費におきましても、雇用・所得環境の改善や、増税前の駆け込み消費などもあり底堅く推移いたしました。リユース業界におきましては、低額品の需要が堅調に推移したことに加え、高額品や嗜好品などに持ち直しの動きが見られました。また、インターネットによる中古品売買の普及・拡大に加え、一部では他業界との提携や資本受入等の動きも見られる等、買取・販売競争は激化の一途を辿っております。

このような状況の下、当社グループは高額品や嗜好品、円安基調に伴う外国人旅行客への免税販売が好調に推移いたしました。その結果、当期の売上高は40,212百万円(前期比117.0%)、営業利益は2,999百万円(前期比142.6%)となりました。

経営方針

ブランド・ファッション事業につきましては、①店舗運営力の強化、②商品管理機能の強化、③ITの強化、④人材育成の強化の4つを重要経営方針と位置づけ、積極的な出店およびCRM、オンラインストアの強化等に取り組む他、ITの強化、人材育成の強化等基盤づくりにも積極的に投資する方針です。店舗展開においては「小型店」を中心に新規出店を行うものの、商圈によっては中型店へのステージアップ等、店舗数および店舗規模拡大を図り、また、

【ブランド・ファッション事業】

当事業ではKOMEHYO 5店舗の新規出店、既存店およびオンラインストアの強化、「KOMEHYO 本館」改装による集客力向上等により買取力・販売力の強化に取り組みました。また、企業価値の向上を目指すため、国内ではオークション事業の拡大を図り、海外においては香港でのオークション運営会社と業務資本提携を行うとともに、平成25年6月に香港現地法人の「KOMEHYO HONG KONG LIMITED」を設立し、海外におけるBtoB事業をスタートいたしました。中古品仕入強化への取り組みについては、TVCM等による積極的な買取促進や株式会社セレクトスクエア、株式会社千趣会との業務提携等を行い、個人買取仕入高は15,895百万円(前期比115.8%)となりました。この結果、売上高は35,473百万円(前期比116.8%)、営業利益は2,763百万円(前期比149.7%)となりました。

【タイヤ・ホイール事業】

当事業では、「クラフト大宮バイパス店」、「クラフト相模原店」の新規出店に加え、スタッドレスタイヤの販売を中心に好調に推移し、売上高は4,637百万円(前期比118.0%)となりましたが、オンラインストアのリニューアル及び新規出店に伴い販売費及び一般管理費が増加し、営業利益は210百万円(前期比89.4%)となりました。

●セグメント別実績 (単位:百万円)

	売上高		営業利益	
	当期 (平成25年4月1日 ～平成26年3月31日)	前期 (平成24年4月1日 ～平成25年3月31日)	当期 (平成25年4月1日 ～平成26年3月31日)	前期 (平成24年4月1日 ～平成25年3月31日)
ブランド・ファッション	35,473	30,377	2,763	1,845
タイヤ・ホイール	4,637	3,929	210	235
その他	141	72	26	22
連結業績	40,212	34,368	2,999	2,103

※連結業績には調整額を加味しております。

新たな業務提携や新規事業にも挑戦し、事業の拡大・成長を目指してまいります。

タイヤ・ホイール事業につきましては、全店舗での買取り、オンラインストアの強化に加え、オリジナルホイールの販売、中古車販売等の新たな施策により、既存店での業績拡大を図ります。当グループは、個々の企業力を高めつつ、グループのシナジー効果を最大限に発揮し、さらなる発展に努めてまいります。株主の皆様におかれましては、今後とも力強いご支援、ご鞭撻

を賜りますようお願い申し上げます。

●平成27年3月期営業目標 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	連結	単体
売上高	42,000 百万円	37,300 百万円
営業利益	3,100 百万円	2,800 百万円
当期純利益	1,900 百万円	1,690 百万円

財務諸表等 (連結)

■ 貸借対照表 (単位:百万円)

科目	当期 (平成26年3月31日現在)	前期 (平成25年3月31日現在)	増減率 (前期末比)
流動資産 point 1	15,491	12,610	22.8%
固定資産	7,814	7,559	3.4%
負債	8,247	6,716	22.8%
純資産	15,059	13,453	11.9%
総資産	23,306	20,170	15.5%

■ 損益計算書 (単位:百万円)

科目	当期 (平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)	前期 (平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)	増減率 (前期比)
売上高 point 2	40,212	34,368	17.0%
売上総利益	12,627	10,634	18.7%
販売費及び一般管理費 point 3	9,627	8,531	12.8%
営業利益	2,999	2,103	42.6%
経常利益	2,988	2,096	42.5%
当期純利益	1,834	1,251	46.6%

■ キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

科目	当期 (平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)	前期 (平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー point 4	1,199	1,208
投資活動によるキャッシュ・フロー point 5	▲ 829	▲ 1,315
財務活動によるキャッシュ・フロー	366	▲ 104
現金及び現金同等物の期末残高	2,848	2,111

point 1

流動資産

5月オープン予定の新規店舗、および、店舗数増加等による計画的な商品確保等により2,880百万円増加しております。

point 2

売上高

通期において高額品需要が高く、消費税増税前の3月度においては駆け込み需要が顕著にみられました。また、訪日外客数増加に伴い、単体における免税売上高は4,035百万円(前期比180.5%)となる等インバウンド需要を確保できております。

point 3

販売費及び一般管理費

主な増加費用は、出店計画に合わせた人員増員に伴う人件費589百万円、売上高拡大に伴うカード・クレジット手数料89百万円、並びに、出店に伴う地代家賃94百万円、減価償却費91百万円等であります。

point 4

営業活動によるキャッシュ・フロー

税引前当期純利益2,985百万円および減価償却費620百万円が、たな卸資産の増加額1,442百万円および売上債権の増加額463百万円を超過したことによるものであります。

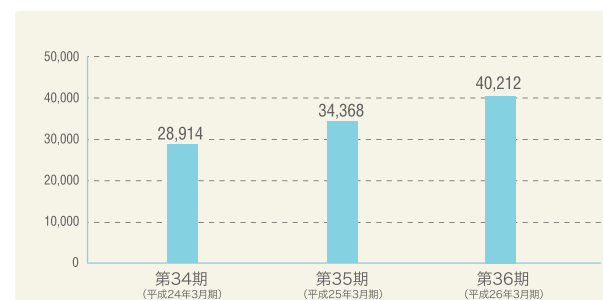
point 5

投資活動によるキャッシュ・フロー

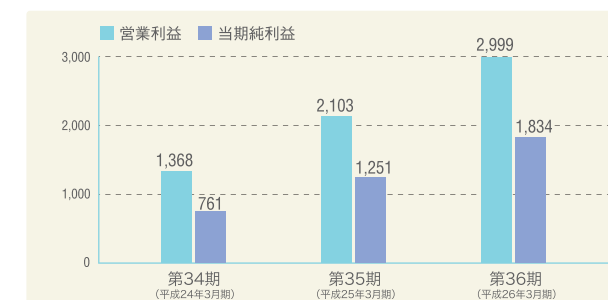
7店舗の新規出店、KOMEHYO名古屋本店のリニューアル工事、システム開発の費用等によるものであります。

業績の推移 (連結)

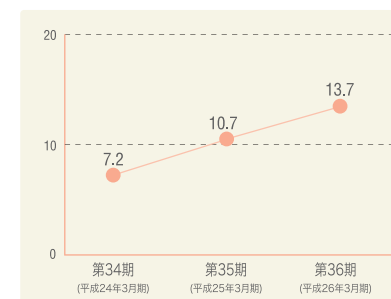
売上高 (単位:百万円)



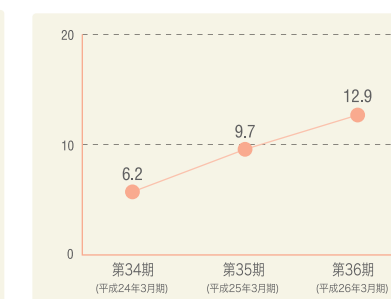
営業利益・当期純利益 (単位:百万円)



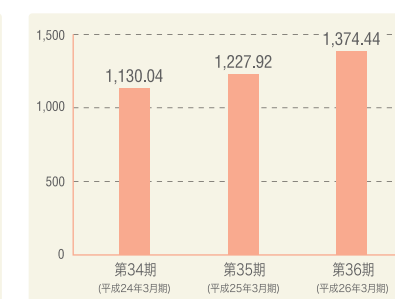
総資産経常利益率 (単位:%)



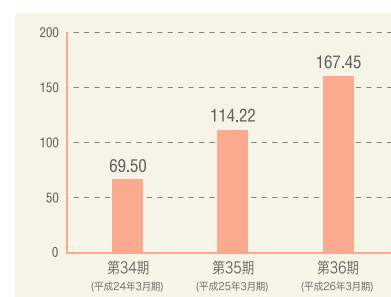
自己資本当期純利益率 (単位:%)



一株当たり純資産 (単位:円)

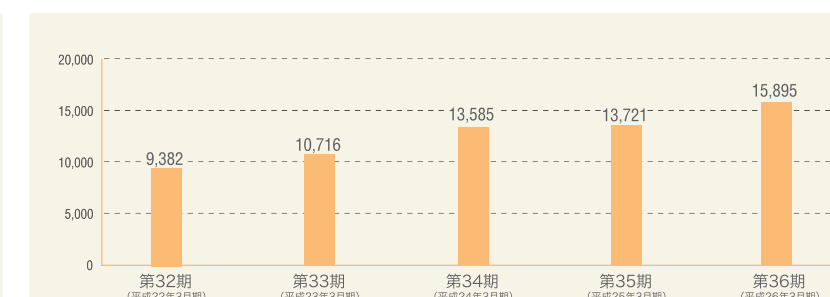


一株当たり当期純利益 (単位:円)



個人買取仕入 (単位:百万円)

※ブランド・ファッション事業



※第34期より連結計算書類を作成しております。

トピックス

コメ兵グループは、全45店舗に拡大。(2014年3月末)

ブランド・ファッション事業
30店舗

タイヤ・ホイール事業
15店舗



流行の最先端であり古着文化のある渋谷に、ブランド品だけでなく、新品・ビンテージ・リユース品までを展開する新しい発想のセレクトストア「KOMEHYO渋谷公園通り店」(159坪、中型店)を出店。宝石・貴金属、時計、バッグ、衣料を買取・販売いたします。
※関東初出店店舗「買取センター渋谷(現)」は営業を継続いたします。

平成26年3月期はKOMEHYO「名駅サンロード店、柏東口店、町田店、京都新京極店、広島本通店」、Craft「大宮バイパス店、相模原店」を出店いたしました。

KOMEHYOあべの店(仮称)
2014年8月OPEN予定

KOMEHYO 新CMスタート



リユース、リサイクル、リフォーム、リノベーションが身近な言葉となってきました。リユースを始めてから67年を迎える当社は、改めてリユースのリーディングカンパニーとして、市場の大きさ、そして重要性を感じていただけるCM制作に取り組みました。当社のHP(www.komehyo.co.jp)よりご覧いただけます。

Craft 中古車販売をスタート



2014年7月に、中川店にて中古車販売事業を開始(予定)。タイヤ・ホイール専門店クラフトが、永年培ったノウハウを活かしてカスタマイズカーを販売いたします。詳しくはcraft-web.co.jp/usedcar/をご参照ください。

1年の軌跡

— NEW KOMEHYO 元年 —

2013年

- 4月 ● KOMEHYO 名古屋本店リニューアルオープン
- Craft 大須ショールームオープン

- 5月 ● 宅配買取拡大のため株式会社セレクトスクエアとの業務提携
- タイヤ・ホイール事業強化のため株式会社オートパーツKOMEHYO設立

- 6月 ● 石原司郎 代表取締役会長就任
- 石原卓児 代表取締役社長就任
- 海外における事業展開のためKOMEHYO HONG KONG LIMITED設立
- Craft 大宮バイパス店(埼玉県初)出店

- 7月 ● KOMEHYO 名駅サンロード店出店
- KOMEHYO 柏東口店(千葉県初)出店
- Craft 相模原店出店

- 8月 ● KOMEHYO 町田店出店
- 宅配買取拡大のため株式会社千趣会との業務提携

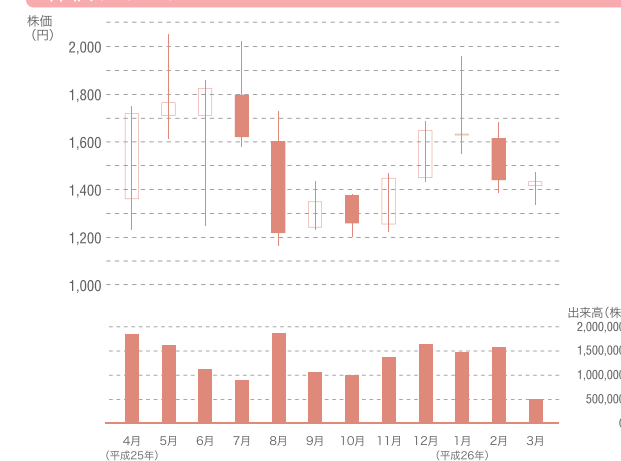
2014年

- 2月 ● KOMEHYO 京都新京極店(京都府初)出店
- KOMEHYO 広島本通店(中国地方初)出店

株式の状況 平成26年3月31日現在

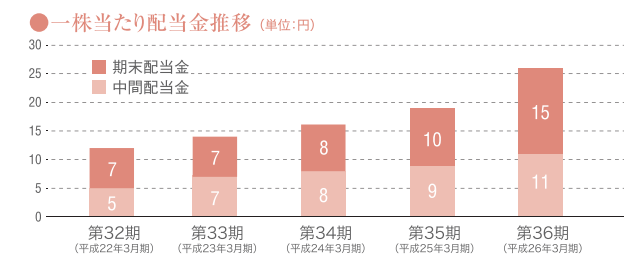
発行株式数等	
発行可能株式総数	18,000,000株
発行済株式総数	11,257,000株
単元株式数	100株
株主数	5,442名

株価チャート



配当政策

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営戦略上の重要政策として認識しており、将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、収益やキャッシュ・フローの状況に応じて、株主の皆様に対する適切かつ安定的な配当を実施していくことを基本方針としております。



Shareholder's memo

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

基準日 3月31日

定時株主総会 6月

配当金受領株主確定日 期末配当金 3月31日
中間配当金 中間配当を行う場合は9月30日

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第二部
名古屋証券取引所 市場第二部

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関

同連絡先 〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL 0120-232-711 (通話料無料)

公告方法 当社の公告は電子公告により行います。
<http://www.komehyo.co.jp/>
※ただし、事故その他やむを得ない事由により
電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

Company Profile

会社概要

会社名 株式会社 コメ兵

設立 昭和54年5月

資本金 1,803,780千円

従業員数 381名

本社 名古屋市中区大須三丁目25番31号

代表者 代表取締役会長 石原司郎
代表取締役社長 石原卓児

事業内容 中古品及び新品の宝石・貴金属、時計、バッグ、衣料、きもの、カメラ、楽器等
の仕入・販売及び不動産賃貸

連結子会社 株式会社 クラフト
株式会社 KOMEHYOオークション
株式会社 オートパーツKOMEHYO
KOMEHYO HONG KONG LIMITED

IR情報 ホームページのご案内

当社ホームページの「IR情報」にて、株主の皆様には有益なIR情報や
各種IR資料を掲載しております。是非、ご利用下さい。

<http://www.komehyo.co.jp/ir/>

株式会社 コメ兵

証券コード: 2780 (東証一部/名証一部)

〒460-0011 名古屋市中区大須三丁目25番31号
TEL 052-242-0088 (代) FAX 052-242-3188
URL <http://www.komehyo.co.jp>



コメ兵は、日本パラリンピック委員会のオフィシャルサポーターです。